

# ストップウォッチ・電卓アプリの利用

小・義（前期課程）5年 理科「ふりこの動き」

4人で1台使用

## 本時の目標

ふりこの長さが長くなると、ふりが一往復する時間も長くなることを理解している。


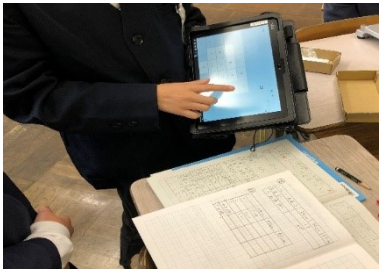
## タブレット端末を活用するねらい

アプリを利用することで、実験器具の準備を簡素化し、より多くの活動時間を確保するため。

## 育成を目指す情報活用能力

目的に応じたアプリケーションの選択と操作（知識・技能）

## 〔学習の実際〕

	学習場面の概要	学習の様子またはタブレット端末画面
導入	1 本時の学習問題を確認する。 ふりが1往復する時間は、ふりこの長さによって変わるだろうか。	 <p>ストップウォッチアプリふりが10往復する時間を計る。</p>
展開①	2 ふりこの長さを変え、ふりが10往復する時間を計る。 ◎ ストップウォッチのアプリを使用し、ふりが10往復する時間を計る。	 <p>電卓アプリを使い、平均やふりが1往復する時間を求める。</p>
展開②	3 ふりが10往復する時間の平均と1往復する時間を求め、ふりこの長さとの関係について考察を行う。 ◎ 電卓機能を使い、3回の実験結果の平均や、ふりが1往復する時間を求める。	
まとめ	4 本時のまとめを行う。 ふりこの長さによって、1往復する時間は変わる。ふりが長くなると1往復の時間は長くなる。 5 本時の振り返りを行う。	

### ○ 児童生徒の変容（感想・授業中の様子・発言）

タブレットを班で一台準備するだけで、タブレット内の様々なアプリを活用することができるので、すばやく実験に取り組むことができ、十分な活動時間を確保することができた。同じ条件で何度も実験することで、より妥当な実験結果を求めることができた。

### ○ 活用する上でのポイント

タッチペンを使用せず、直接画面をタップする方が、正しく操作することができた。